

寺 音 観
第一高校

同窓会報



平成24年度

立 香 川 県 立
校 音 觀 寺 第一 高等 学 校 会
同 窓 会



ごあいさつ

同窓会長
三宅 昭二
(観一昭28年卒)

会員の皆様お元気ですか。日頃は観一高同窓会に格別のご理解とご支援を頂き深く感謝申し上げます。

さて今年五月二十七日の同窓会総会は、例年通り四百五十名の登録を頂き会場満杯となりました。「肩書きのいらぬい」同窓会ならではの盛り上がりとなり、観一高名物の『デカンショ踊り』や三中・三女の校歌・学園の歌・観一校歌と次々に歌われ、年次・支部を超えての、すばらしい交流の場とな

りました。お世話を頂いた四五年卒と五八年卒の当番年次の皆様方のご苦勞に改めてお礼を申し上げます。

例えばわが同窓会の抜本的な組織改革が行われて十数年経過しましたが、今日の発展は夢のようです。基礎組織の支部と年次が、自主的な活動で縦糸、横糸のように作用して同窓会の運営を活性化させて来ました。東京・京阪神・岡山・松山の県外四支部と県内十三支部・二職域の会が、それぞれに独自色を保ちながら連帯の絆で結ばれて、会員間の親睦はもとより

母校にも貢献出来て心うれしい限りです。今年度中に善通寺支部(観一第三回卒・辻豊昭支部長)も活動開始となりました。

会員の皆様からは、年間一千元の会費を自主的納入でお願いして今期は、五二〇〇口余の納入となりました。ピーク時に着実に近づいてきて、安心と期待をしている

支援をして喜ばれています。

百十周年記念の中の資料館整備事業は、今後も続けてゆく事業で特に先輩文庫はまだまだ書籍を集めているところです。自著・共著どちらでも二冊ご送付頂ければ登録されます。お待ちしています。

昨年度校長先生から報告のありました観一高校舎改築は、平成二十五年年度に着工の予定ですが、観一高を象徴する巨大な樟樹や、三中・三女・観一の記念すべきものは、引継ぐべく配慮を要望しているところです。映画「こんなかい」を制作された大西和孝氏(観一昭49年卒)を中心とする運動も進んでいるところですよ。

母校観一高も歴史と伝統を保ちつつ時代と共に変遷して参ります。私達同窓会会員も連帯の力を結集して民主的な運営のもとに今後とも支え合い発展してゆきたいものと念じてやみません。



ご挨拶

校長
島田 政輝

会員の皆様におかれましては、日頃、本校の教育活動に多大なご支援を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、創立百十三年目を迎える本年、長年にわたり多くの卒業生の皆様に親しまれてきた現校舎が最後の年を迎えることになりました。来春、仮校舎への移転の後、解体され、現校舎の跡地に新校舎が建設されます。跡地の東側部分に口の字型の四階建て本館棟が、また、西側部分に新体育館がそれぞれ建設されます。なお、本校のシンボルともいえる樟樹の木々は、ほぼそのまま残り、新校舎完成後も、これまで同様、観一の伝統と風格ある趣を醸し出してくれそうです。こうした時代の移り目を迎える本校ですが、明日の次代を担う若者を担うべく進めているスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSHS)事業は今年二年目を迎えます。

昨年は、東京方面への研修(理学研究所、宇宙航空研究開発機構、東大、東工大等)や西はりま天文台等での合宿など、様々な取組を行いました。今年はそれらに加え、大学での研究室体験(阪大・工、香大・工、岡大・医)や、アメリカ西海岸への研修旅行(NASAジェット推進研究所、COHベックマン研究所、スタンフォード大学、SLAC国立加速器研究所等)を行います。そして、昨年同様、阪大微研をはじめとする地元企業のご協力を頂いての研修も予定しています。また、公開天体観測会等も積極的に開催しますので、多数の皆様のご来校をお待ちしています。

一方、生徒の状況ですが、今春の大学進学状況は、国公立大一二九名(過年度生を含む)と昨年(一〇四名)を大幅に上回る実績をあげました。また、部活動も、二年連続ベスト四の野球部、全国高文祭文化庁長官賞の邦楽部をはじめ、男子が県総体十六年連続総合優勝を果たした陸上部やインターハイ出場の山岳、アーチェリー、卓球の各部、そしてNHK全国コンクール出場の放送部、全国高文祭出場の美術部など多くの部が様々な活躍を見せてくれました。

会員の皆様には益々のご健勝と引き続き本校へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

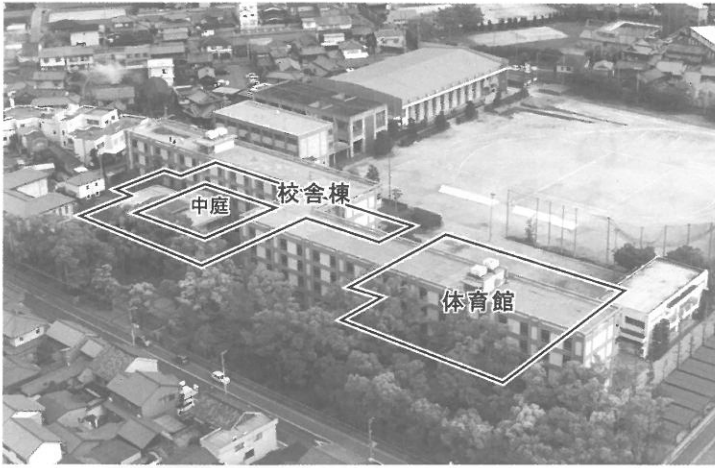
生まれ変わる学び舎

観一に足を踏み入れると、懐かしい高校生の頃の記憶が鮮明に蘇ります。それはおそろしくいつまでも変わらぬ風景で観一の存在がそこに在り、私たちを温かく迎え入れてくれるからでしょう。

同窓生諸氏はすでにご存知のことと思いますが、この度、その懐かしい校舎が取り壊され、新しい校舎に生まれ変わることとなりました。

新校舎はまだ詳細が決定していませんが、あくまでも概要であり、必ずしも正確ではないのですが、現在の校舎の航空写真の上に新校舎の位置を線描きで示してみました。

ほぼ現校舎を撤去した跡に建てられ、基本的に植栽されている樟樹はそのまま残ります。新校舎は四階建てで、吹き抜けになった中庭を囲むように口の字形に建ちます。正門から校内に入ると建物に囲まれた広場があり、左側が校舎棟、右側に体育館が迎えてくれることとなります。まだまだ青写真の段階ですが、校舎は来年度着工予定で二年間で建設する予定です。現校舎は今年度一杯使用する予定で、今年度中に運動場に仮校舎を建設します。校舎の取り壊しは来年度からです。



現在の校舎は、昭和三十六年から五期に分けて建設され、昭和四十年に創立六十五周年式典とともに校舎改築落成記念式典が挙行されています。それから四十年余り、その間、多くの卒業生が、この学び舎で育ち巣立っていきました。校舎にはそんな卒業生の汗や涙や夢と思いがぎっしり詰まっています。本紙上ではやがて消えていく現在の校舎の姿をいくつかの写真で紹介いたします。



現在の校舎です。旧体育館が撤去され、運動場から眺めると、校舎が東と西に鍵形に建っている様子がすべて見渡せるようになります。



本館三階から職員室棟を見ると、その向こうに百周年記念館があり、町並みを越えると遠くに稲積山が望めます。



中央階段です。構造的な美しさを感じます。



進路指導室前は自分の行く道を探って多くの生徒が訪れます。



放課後には、教室から出て廊下に机を出して勉強している風景が恒常的にあつて、これを「ロー勉」と言っています。



校長室の前にはガラス張りの戸棚があり、ここには、各部の輝かしい戦績を示す数々のトロフィーが飾られています。



また、中央階段ロビーには、校章や、同窓会の設置した活動の記録パネルが掲示されています。



西側の食堂棟を眺めたところ。この食堂棟はそのまま残ります。



職員室棟の前には変わらぬ時を刻み続ける時計が立っています。

新校舎によって観一生活がより快適な環境で勉学に励めるようになるのは大変喜ばしいことです。建設中は、授業中の騒音対策に始まり、生徒の安全確保や運動場が使えなくなるなど、クリアしなければならぬ課題も多いと思いますが、スムーズに新校舎に移行できることを祈念して、その完成を見守りたいと思います。

平成二十三年 事業報告

1 会議の開催

○理事会

平成二十三年五月二十二日

平成二十四年一月二十一日

平成二十四年三月二十四日

○幹事会

平成二十三年四月二十九日

○総会

平成二十三年五月二十九日

観音寺グランドホテル

四〇六名参加

2 在校生に対する育英事業

奨学金九六〇,〇〇〇円

3 学校・生徒への援助事業

年会費の徴収

4 同窓会報の発行

平成二十三年十月一日発行

二六、五一五部発送

5 資料整備委員会

第一回 平成二十三年六月二十一日

ホームページの開設

平成二十三年十月一日

6 平成二十三年卒業生住所調査

その他

支部総会

豊浜(四月十六日) 仁尾(七月二十三日) 観音寺(九月二十五日) 高松(十月一日) 大野原(十月二十三日)

京阪神(十一月五日) 詫間(十一月六日) 東京(十一月十九日) 松山(十一月二十六日) 丸亀(十二月三日)

三野(十二月十八日) 坂出(二月十一日)

平成23年度 収支決算報告書 (平成23.4.1~平成24年3.31)

1. 収入の部

項目	予算額	決算額	摘要
繰越金	634,715	634,715	平成22年度からの繰越金
入会金	810,000	813,000	3,000円×271名
会費	5,200,000	5,240,000	5,240口
雑収入	55,285	388,197	名簿代金、総会の残金、利息
合計	6,700,000	7,075,912	

2. 支出の部

項目	予算額	決算額	摘要
会議費	20,000	21,438	総会・理事会・幹事会
広報費	700,000	525,470	会報印刷、会員章、ホームページ管理費等
調査費	20,000	14,600	住所調査(卒業時)
振興奨励費	1,000,000	987,665	部活動等振興奨励
育英基金繰出	600,000	600,000	
旅費	250,000	294,840	各支部総会出席旅費
事務費	700,000	818,355	会費納入事務費、通信費等
同窓会報等委託料	1,350,000	1,481,750	
同窓会報郵送費	1,700,000	1,807,776	
慶弔費	300,000	287,500	支部総会祝金、記念品代等
雑費	10,000	0	
予備費	50,000	73,074	街路灯電気代、資料館・先輩文庫管理
合計	6,700,000	6,912,468	

3. 収支決算

収入決算額	支出決算額	差引残高
7,075,912	6,912,468	163,444

年度末残高 163,444円(百十四銀行 普通預金 No.55657)

4. 積立基金

14,999,998円

百十四銀行	4,854,154円	(定期預金)
観音寺信用金庫	5,049,844円	(定期預金)
郵便局	5,096,000円	(定期貯金)

5. 平成23年度香川県立観音寺第一高等学校同窓会育英基金

収入の部

支出の部

項目	決算額	項目	決算額	摘要
繰越金	6,133,119	奨学金	960,000	1万円×12ヶ月×8名
23年度繰入金	600,000	振込手数料	5,460	
利息	937	合計	965,460	
合計	6,734,056			

年度末残高 5,768,596円(百十四銀行 普通預金 No.1081498)

監査報告

関係諸帳簿について監査の結果、正当と認めます。

平成24年4月18日

監査 金田生男
監査 佐川経子

平成25年度観音寺第一高等学校同窓会総会の開催予定

- とき 平成25年5月26日(日)
- ところ 観音寺グランドホテル
- 参加のお申し込みは

観音寺第一高等学校同窓会事務局まで
平成25年5月17日(金)締切
TEL 0875-25-4155 FAX 0875-25-4145